

# ●●●2024年10月～12月期 栃木県中小企業景況調査(182回)●●●

## 【栃木県D I 指数天気図】

### 業況

県内全体の業況（DI値）は、前期(7-9月期)から3.4ポイント悪化し-13.9ポイントとなった。全国との比較では7期連続で全国平均を上回る結果となった。業種別に見ると、製造業は悪化となったが、サービス業、建設業、小売業では前期より改善となった。

全業種において、仕入単価の上昇が経営上の問題点第1位にあげられており、円安や物価高の影響を大きく受けていることが見受けられる。

来期の県内全体の業況は2.9ポイント改善の-11.0ポイントとなる見込みで、業種別では建設業は19.5ポイント、サービス業では4.1ポイントの悪化が見込まれるが、製造業では14.7ポイント、小売業では3.6ポイントの改善が見込まれている。

～天気図の指標～

現状	良い	やや良い	やや悪い	悪い	とても悪い
天気図					
DI値	15.1～	15～0.1	0～-15	-15.1～-40	-40.1～

今期(県内全体)の業況

DI値

-13.9

※全国 -17.4

業種	項目	今期(全体)	売上額	仕入単価※	採算	資金繰り
製造業						
	DI値	-16.5	13.3	75.0	-3.3	-26.7

**業況：前期から16.9ポイント悪化、来期は大幅改善の見込み**

来期予想(全体)
-1.8
(↗)

建設業						
	DI値	4.4	-10.5	94.4	0.0	0.0

**業況：前期から12.1ポイント改善、来期は大幅悪化は大幅悪化の見込み**

-15.1
(↘)

小売業						
	DI値	-21.6	-25.0	82.0	-30.0	-17.5

**業況：前期から8.7ポイントの改善、来期は小幅改善の見込み**

-18.0
(→)

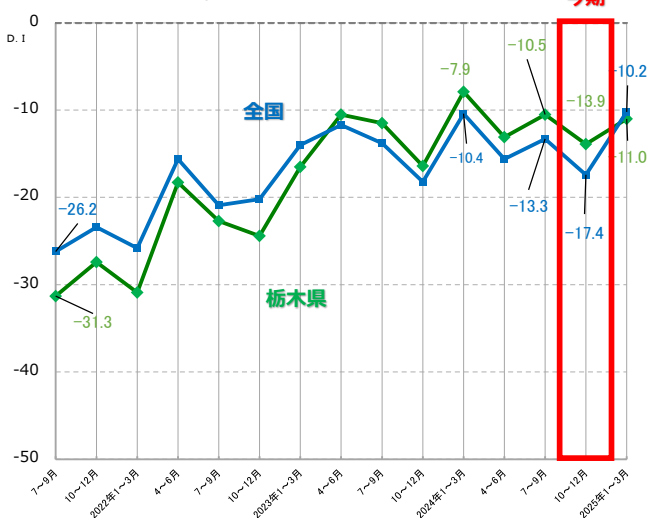
サービス業						
	DI値	-7.1	-11.9	73.2	-20.7	-15.1

**業況：前期から2.2ポイントの改善、来期は小幅悪化の見込み**

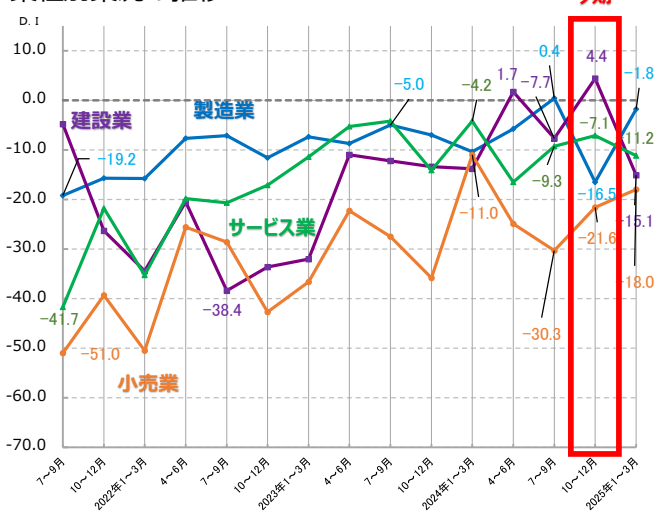
-11.2
(→)

※仕入単価はプラスになるほど悪化となります

全国と栃木県の業況の推移

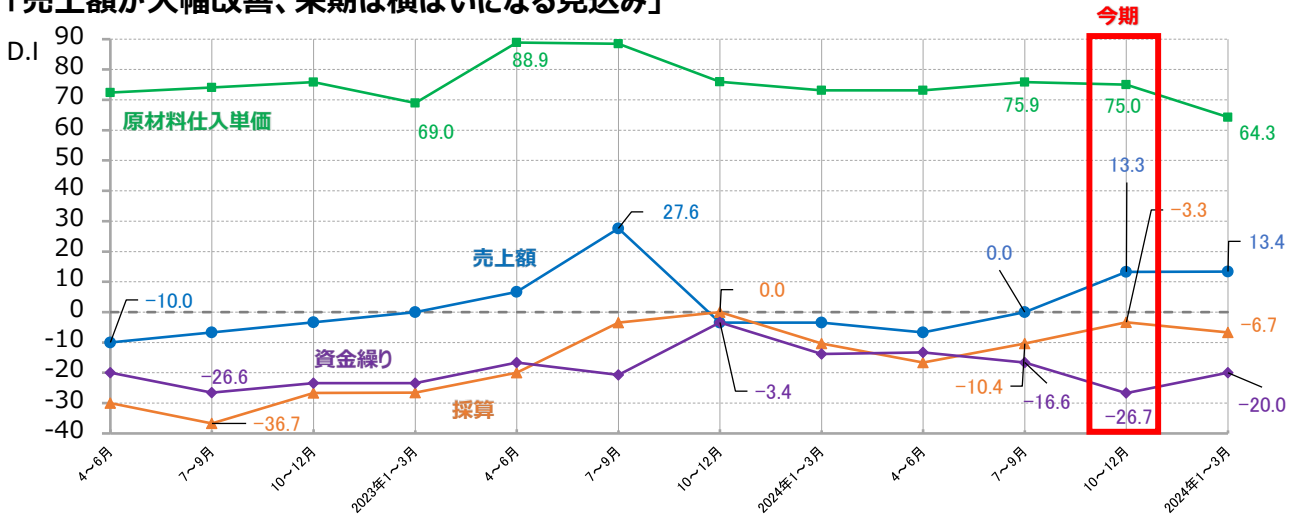


業種別業況の推移



製造業

「売上額が大幅改善、来期は横ばいになる見込み」

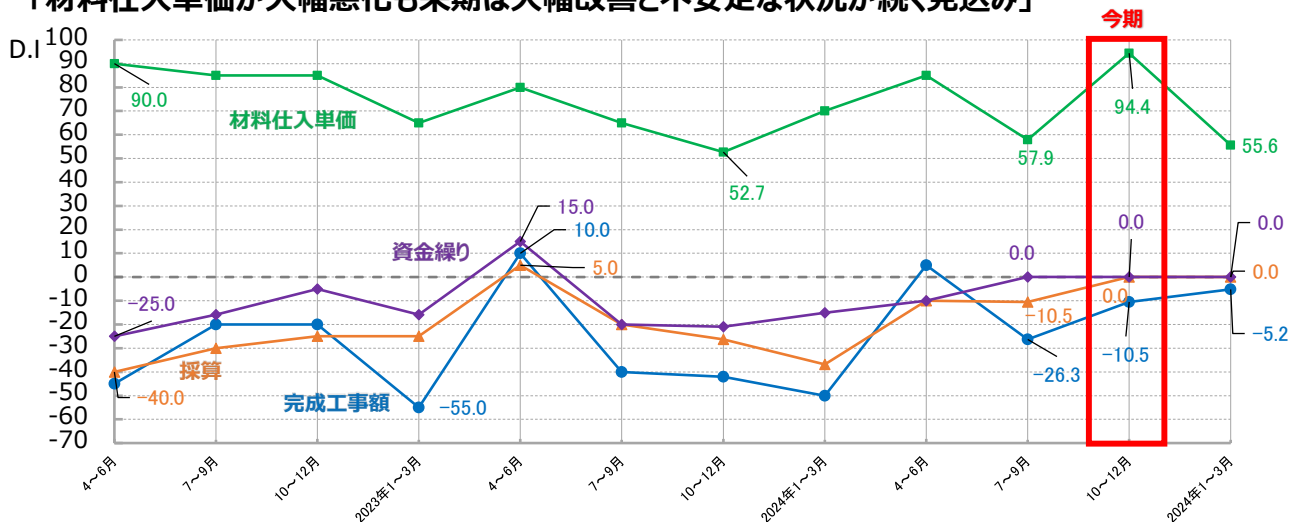


「売上額」は13.3ポイント (0.0→13.3) の改善となり、来期はほぼ横ばい (13.3→13.4) の見込み。「原材料仕入単価」は0.9ポイント (75.9→75.0) の小幅改善がみられ、来期も10.7ポイント (75.0→64.3) の改善となる見込み。「採算」は7.1ポイント (-10.4→-3.3) の改善が見られたが、来期は3.4ポイント (-3.3→-6.7) の4期ぶりとなる悪化が見込まれる。「資金繰り」は10.1ポイント (-16.6→-26.7) の悪化となり、悪化傾向が続いているが、来期は6.7ポイント (-26.7→-20.0) の改善が見込まれている。

- 【経営上の問題点】 第1位： 原材料価格の上昇 (30.4%)      第2位： 需要の停滞 (17.7%)  
 第3位： 従業員の確保難 (15.2%)      第4位： 人件費の増加 (8.9%)

建設業

「材料仕入単価が大幅悪化も来期は大幅改善と不安定な状況が続く見込み」

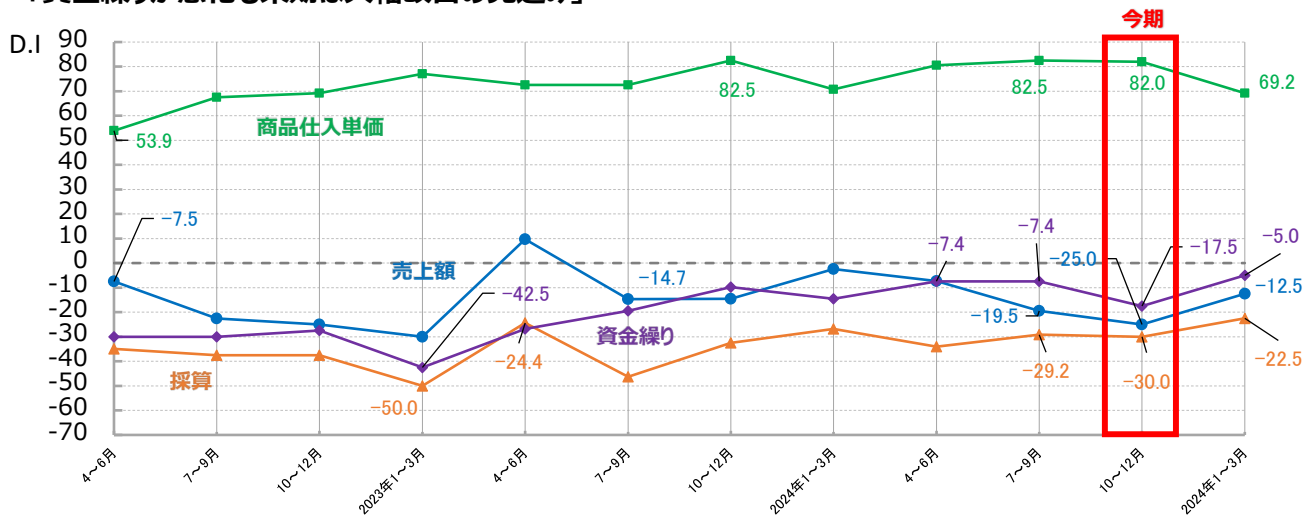


「材料仕入単価」は36.5ポイント (57.9→94.4) の大幅悪化となったが、来期は38.8ポイント (94.4→55.6) の大幅改善の見込まれ、不安定な状況が続く。「資金繰り」は横ばい (0.0→0.0) となり、来期も引き続き、横ばい (0.0→0.0) となる見込み。「採算」は10.5ポイント (-10.5→0.0) の改善、来期は横ばい (0.0→0.0) となる見込み。「完成工事額」は15.8ポイント (-26.3→-10.5) の大幅改善となり、来期も5.3ポイントの改善が見込まれており、改善傾向にある。

- 【経営上の問題点】 第1位： 材料価格の上昇 (30.3%)      第2位： 従業員の確保難 (27.3%)  
 第3位： 熟練技術者の確保難 (12.1%)      第4位： 民間需要の停滞 (9.1%)

## 小売業

### 「資金繰りが悪化も来期は大幅改善の見込み」

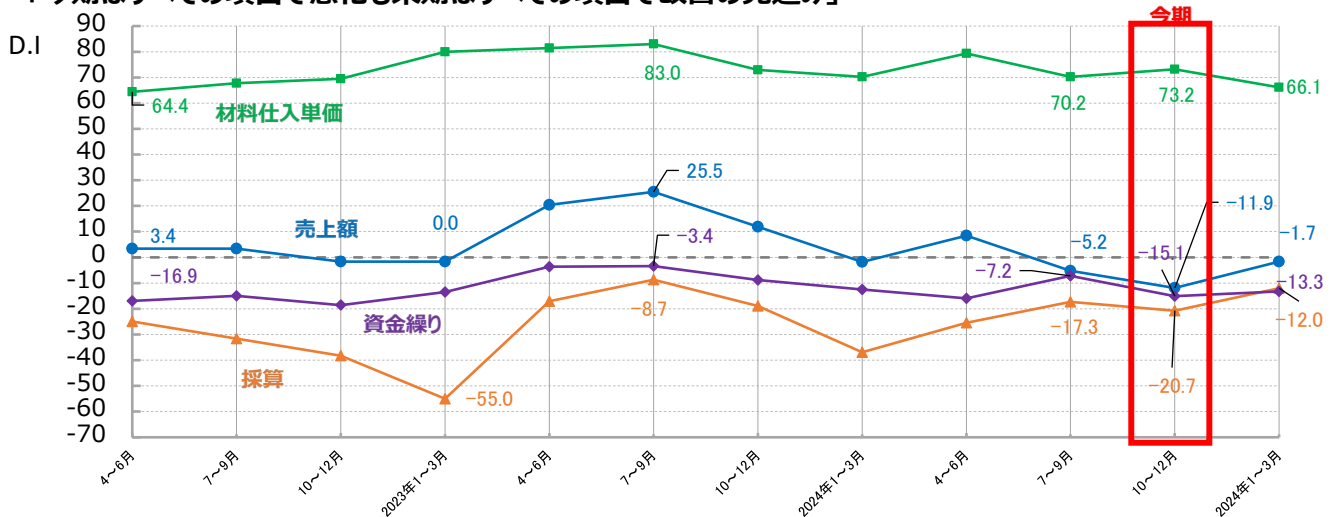


「資金繰り」は10.1ポイント（-7.4→-17.5）の悪化となったが、来期は12.5ポイント（-17.5→-5.0）の大幅改善の見込み。「商品仕入単価」はほぼ横ばい（82.5→82.0）となったが来期は3期ぶりとなる12.8ポイント（82.0→69.2）の改善が見込まれる。「売上額」は5.5ポイント（-19.5→-25.0）の悪化となり、悪化傾向が続いているが、来期は12.8ポイント（-25.0→-12.5）の改善が見込まれている。「採算」は0.8ポイント（-29.2→-30.0）の小幅悪化が見られたが、来期は7.5ポイント（-30.0→-22.5）の改善が見込まれている。

- 【経営上の問題点】 第1位：仕入単価の上昇（27.3%） 第2位：大・中型店の進出による競争の激化（16.4%）  
 第3位：需要の停滞（12.7%） 第4位：消費者ニーズの変化への対応（10.9%）

## サービス業

### 「今期はすべての項目で悪化も来期はすべての項目で改善の見込み」



「材料仕入単価」は3.0ポイント（70.2→73.2）の小幅悪化が見られたが、来期は7.1ポイント（73.2→66.1）改善の見込み。「売上額」は6.7ポイント（-5.2→-11.9）の悪化も来期は10.2ポイント（-11.9→-1.7）の改善の見込み。「資金繰り」は7.9ポイント（-7.2→-15.1）の悪化が見られた。来期は1.8ポイント（-15.1→-13.3）の小幅改善の見込み。「採算」は3.4ポイント（-17.3→-20.7）の悪化が見られたが、来期は8.7ポイント（-20.7→-12.0）の改善が見込まれている。

- 【経営上の問題点】 第1位：材料等仕入単価の上昇（33.3%） 第2位：利用者ニーズの変化への対応（12.3%）  
 第3位：人件費の増加（8.6%） 第4位：人件費以外の経費の増加（8.6%）

## 調査要領

### ○調査の目的

中小企業景況調査は、全国の商工会地区に地域経済観測点を設置し、地域の産業の状況や経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態諸情報を迅速かつ的確に収集・提供して、経営改善普及事業の効果的实施に資するものとする。本報告書は、栃木県内商工会地区における、「製造業」「建設業」「小売業」「サービス業」の4業種を、主要景況項目(売上額・原材料仕入単価・採算・資金繰り)から分析し、景況情報をまとめたものである。

### ○調査対象地区（栃木県商工会地区）

矢板市・下野市・うつのみや市・益子町・市貝町  
壬生町・藤岡町・喜連川・那珂川町・那須塩原市

### ○調査時点

2024年11月15日

### ○調査対象期間

2024年10月～12月期の実績及び、2025年1月～3月期の見通しについて調査

### ○調査方法

商工会の経営指導員による訪問調査

### ○回答企業数内訳

業種	回答企業数	構成比(%)
製造業	30	20.3%
建設業	19	12.8%
小売業	41	27.7%
サービス業	58	39.2%
合計	148	100.0%

### ※D I 指数とは

報告書に登場するD I 値とは、デフュージョン・インデックス(Diffusion Index = 景気動向指数)の略であり、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いた値を示すものである。

D I 値がプラスのときは業況の好転、マイナスのときは業況の悪化を示すことから、景気の動向を判断する指数として利用される。また、D I 値は強気・弱気など、景況感の相対的な広がりを示すものであり、売上額などの実数値の上昇率とは異なる。

たとえば、今期の売上額を前年同期と比較した結果、増加企業が50%、不変企業が30%、減少企業が20%となったとすると、D I 値は $50 - 20 = 30$ となり、売上額に対して強気の度合いを示している。



編集：栃木県商工会連合会 企業支援課

発行所：栃木県商工会連合会 栃木県宇都宮市中央3丁目1番4号

TEL 028-637-3731・FAX 028-637-2875